

# 内子町

愛媛県

## 万延元年のフットボール 大江健三郎



大江文学で重要なモチーフとなる大瀬地区 南側の山から見下ろした大瀬地区の橋

「わが国2人目となるノーベル文学賞作家の代表作」。うたい文句に誘われ本を開いてみたものの、複雑怪奇なストーリーに四苦八苦——そんな経験を持つ方々もおられるのでは。ご多分に漏れず私も眠気をこらえ、1カ月かけてようやく読破した。

しかし、迷宮のような小説世界を抜け出してみると、なぜか舞台となった「四国の深い森」が懐かしく思えてくる。その詩情が今も忘れられず、作家を育てた山里を歩いてみることにした。

松山空港でレンタカーを借り、新緑に包まれた国道を南へ。内子町中心部から東へ約10キロ。小田川の清流沿いにその故郷・大瀬地区があった。南側の高台に上ってみると、小説にあるとおり「紡錘形の窪地」を眺める

ことができた。

芥川賞作品「飼育」にも登場するかつての村役場は、大江作品展示室も備えた交流館となっていた。遍路途中の宿泊者が多いそう、昼食時に立ち寄った私も、地元主婦らに特大いなりずしでもてなしてもらった。

和紙生産や木材搬出などで栄えた街道筋に、大江家もひっそり軒を並べていた。向かいには瓶に硬貨を入れて買う野菜の無人販売所。道行く児童らも私に自然なあいさつをしてくれる。

今年傘寿を迎えた作家だが、「戦後民主主義者」として原発再稼働、新安保法制などを鋭く批判し続けている。その行動の原点には素朴な山河を守りたいという、大江さん流「愛国心」もあると思えてならなかった。



「万延元年のフットボール」(講談社文芸文庫、1620円)



南予土産として人気のある「じゃこ天」



来年創建100年を迎える劇場「内子座」。木ろうや和紙産業で栄えた時代がしのばれる

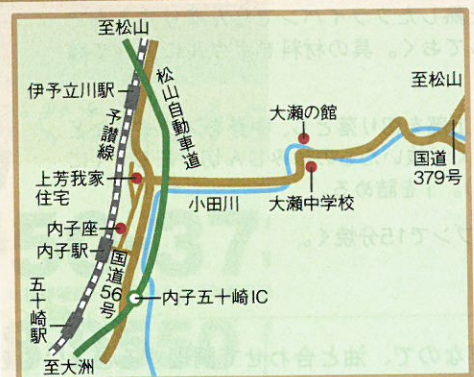


大瀬中の音楽ドーム。大江さんと親交が深い原広司・東大名誉教授が建築した



内子名物のクリまんじゅう

### 行き方 ACCESS



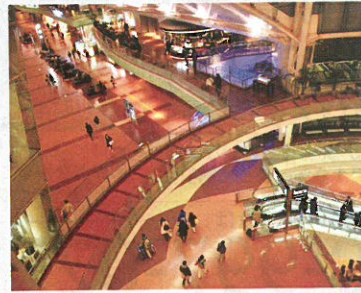
松山空港へは東京(羽田)から約1時間半、大阪(伊丹)から約1時間。松山空港からJR松山駅へバスで15分、予讃線特急に乗り換え内子駅まで約25分。



旧村役場を再生した「大瀬の館」



明治期に木ろう生産で財をなした「上芳我家住宅」。重要文化財



夜の羽田空港。主人公らは米国から帰国する弟を、近くのホテルで待つ

文と写真・伊藤信司

コース№E0014-40

奈良

夏めぐり 奈良

1300年のころ 見つけました

興福寺(阿修羅像)

室生寺・船宿寺・安倍文殊院 特別拝観

興福寺国宝館 早期貸切と

夏めぐり

とっておきの奈良を感じいただけるキャンペーンです。秘宝秘仏や建物の拝観に加え、僧侶や神職の方にご案内をいただく特別企画などもご用意しました。奈良国立博物館の開館120周年記念特別展へも。

【出発日】7月18日(1泊2日)

【旅行代金】(おひとり)2人1室 **69,800円**  
1人1室 **71,800円**

※新大阪集合・名古屋解散 各20,000円引き

【コース】①東京7~9時発(品川・新横浜)→新大阪→船宿寺(通常非公開の小堀遠州流庭園と華菩薩を特別公開)→奈良国立博物館(奈良国立博物館の開館120周年記念特別展「白鳳」、長年構想を温めてきた白鳳美術の大規模な展覧会)→奈良市内(ホテル日航奈良・洋室→大浴場完備)②=興福寺(国宝館早期貸切特別拝観→「阿修羅像」をはじめとする国宝・重文、僧侶のご案内で拝観)→安倍文殊院(金閣浮御堂・霊宝館→寺宝特別公開)→室生寺(通常入れない慶雲殿で講話を受けた後、僧侶と一緒に昼食→各お食事を僧侶が案内)→名古屋(新横浜・品川)→東京19~21時着

※1日目の「船宿寺」は、「吉野山・金峯山寺」に変更になる場合があります。

■食事/3食付き(①昼②朝食) ■添乗員同行

■最少催行人員/15名

お問い合わせ・お申し込みは

**まいたび** 3216-5341

毎日新聞旅行 平日9:30~17:30(日・祝日) 土9:30~12:00(は休み)

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社内

旅行企画・実施:株式会社毎日企画サービス 観光庁長官登録旅行業第1280号

(社)日本旅行業協会正会員 ※詳しい旅行条件(書面)を事前に確認のうえお申し込み下さい。

www.maitabi.jp まいたび で検索